



射水市立小杉小学校 学校だより

# 杉っ子

第9号

令和6年1月11日

## 「災い転じて福となす」 今年もよろしく申し上げます

元日に起きた能登半島地震。ご家族にお怪我はなかったでしょうか。家屋や家財の損壊もあり、大変な年明けとなりました。知人、ご親戚の方々などには、お辛い思いをされたり、不自由な生活を強いられている方もいらっしゃるでしょう。心よりお見舞いを申し上げます。

また、子供たちも怖い思いをし、ショックを受けていることと思います。学校では、子供たちが落ち着いて安心して学校生活を送れるように努めて参ります。ご家庭の方でもお子さんの様子で気がかりなことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



### ＜災害時の子どもの心のケア＞ 一番身近な大人にしかできないこと

- 1 「安心感」を与える
- 2 「日常」を取り戻すことを助ける
- 3 被災地の映像を繰り返し見せない
- 4 子どもは自ら回復する力があることを理解し、見守る

ユニセフHPより

令和6年のスタート！ 笑顔でつながる 杉っ子に！！

人を大切にする 自分の思いを伝える

自分の考えをもつ チャレンジする

四つの  
力



さて、1月9日（火）には、第3学期の始業式を行いました。転出があり、全校児童 595 名のスタートです。

3学期に登校するのは6年生が 48 日、1～5年生が 51 日です。残り少ない今の仲間との学校生活を笑顔で送り、次の学年へつないでいくために左の四つの力を大切にしようとお話をしました。

人を大切にする力とは、言葉を換えれば、自分がされて嫌なことはしない、言われて嫌なことは言わないということです。そうすれば、自分を応援して

くれる人が増えます。また、誰々もしていたから、誰々がこう言ったからという理由で行動するのではなく、自分の考えをもって行動し、自分の思いを言葉で伝える力を付けてほしいと思います。そして、自分をしっかり見つめて、続けることを決め、チャレンジしてほしいのです。小さなことの積み重ね、毎日の努力が自分を成長させてくれます。

心と心のつながりを感じ、たくましく笑顔の杉っ子になれるように、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



## 校内書初大会

書初は平安時代の宮中行事を起源とし、寺子屋から庶民に広がり、学校教育で定着した正月行事とされています。おめでたい言葉や詩歌、または今年一年の目標や抱負を書くことで、行動を新たにするという意味があるそうです。

校内書初大会では、どの学年の子供も一画一画丁寧に心を込めて書いていました。「今年もがんばるぞ!」という意気込みが伝わってくるようでした。



## あったか家族の日 ～家族一緒に食事、おしゃべり、お手伝い～

射水市では、家族とのふれあいや団らんが子供の健全な成長につながると考え、毎月 25 日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としています。

小学校の「あったか家族の日コーナー」は全校児童が通るところにあり、友達のカードを楽しそうに見ている子供たちがいます。前回は、「家族のみんなで運動をしたよ」「お米をとだよ」「リビングでママさんと寝たよ」といったカードがありました。楽しい絵や写真、「またしようね」といったご家族からの温かい言葉が添えられていて、心が温かくなります。委員会の子供たちも校内放送で紹介してくれています。

毎日の何気ない会話やふれあいが子供たちのエネルギーの源となります。家族からのコメントで、ねぎらいや感謝の言葉、共感の言葉をもった子供たちのうれしそうな顔が目に見えます。このカードが子供たちの成長の証、宝物となったらうれしいと思います。

ご協力いただき、ありがとうございます。



## あいさつは魔法の力

ちょっと勇気がいるけれど 思い切って声を出してみよう あいさつは魔法の力 ラ～ラララ～ラ～ララ～♪  
東京都から出ているあいさつソング「あいさつは魔法の力」を視聴する機会がありました。始業式の日、玄関にいますと、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします」「おはようございます」と元気な声で挨拶をしてくれる子供が何人もいました。とてもうれしく、曲名のとおり元気が出ました。私たち大人も子供に負けず、あいさつのお手本になりたいものですね。